

サトイモ新品种「ちば丸」の作り方

千葉県農林総合研究センターでは、土垂系のサトイモ新品种「ちば丸」を育成し、平成19年に品種登録されました。



PVP 出願品種名:「ちば丸」
登録番号:第15137号
品種登録者:千葉県

「ちば丸」の特徴

- ◆「土垂」系の中晩生品種
- ◆丸系で大玉、いも数がやや少ない
- ◆形状が揃い、選別しやすく、上物率が高い
- ◆ぬめりが少なく、皮むきしやすい
- ◆いろいろな料理に向く

目標収量 総収量 2,500kg/10a
上物収量 1,200kg/10a

栽培暦

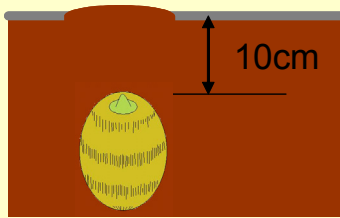
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
作付期間		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
主な作業		基肥	マルチ付 子け張り	追肥・ 土寄せ	追肥・ 土寄せ				収穫				貯蔵	

1 圃場・種いもの準備

- ◆かん水可能で、土壤病虫害(線虫、萎ちょう病及び乾腐病など)の被害がない圃場を選定する。
- ◆植え付け前に線虫対策を行う。
- ◆購入した種いものは、箱から出し、コンテナ等に移し替え、通気性の良い日陰に保管する。
- ◆種いも消毒を行う。
- ◆生育を揃えるために、種いもの大きさを分けて植え付ける。無加温ハウスなどで催芽を行い、芽が数cm伸びた苗を植え付けると良い。

2 植え付け

- ◆4月中旬～5月上旬に植え付ける。
- ◆平ベッドに透明ポリマルチ栽培とし、ポリマルチは土寄せ時に除去する。平畦無マルチ、高畦マルチ栽培も可能。
- ◆栽植密度は2,000～2,200株/10a、畦幅100～110cm、株間40～50cmとする。(平畦栽培)
- ◆芽の上に平畦栽培では8～10cm、高畦栽培では15cm程度土がかかる深さとする。



4 土寄せ・追肥

- ◆追肥直後に土寄せを行う。
- ◆1回目の土寄せは、子いも着生期となる5～6葉期に、2回目は、その3週間後を目安とする。(5月上旬植付けの場合で6月下旬と7月下旬になる)土の量は2回合わせて厚さ15～20cm程度になるよう十分に寄せる。
- ◆かん水は、土寄せ時期から9月下旬にかけて行う。乾燥が続く場合には、7～10日間隔で1回50mmを目安としてかん水する。



5 病虫害防除

- ◆乾腐症状病害の発生圃場を避ける。健全な種いもを利用する。
- ◆線虫やコガネムシ(幼虫)は病害の発生も助長するので、被害が心配される場合は、防除をしっかり行う。
- ◆ハスモンヨトウなどの葉を食害する害虫は予察に努め、発生初期に防除する。

6 収穫・調製

- ◆4月中旬植付けでは10月下旬から11月上旬に、5月上旬植付けでは11月上旬から中旬に収穫する。
- ◆規格に基づいた調製・選別を行い、産地の評価向上に努める。



3 施肥

- ◆堆肥の施用により保肥力や保水力を高める。
- ◆基肥は、窒素成分で5kg/10a程度とし、前作の残存窒素量を考慮して加減する。
- ◆追肥は、土寄せ時に窒素成分で1回当たり3～4kgを施用する。

施肥例 (kg/10a)			成分		
資材	施用量		窒素	リン酸	加里
基肥	根菜専用配合 (866)	80	6.4	18.8	14.8
	苦土重焼リン	40			
	硫酸加里	20			
	苦土石灰	80			
追肥	化成特8号	80(2回分)	6.4	6.4	6.4
合計			12.8	25.2	21.2

7 貯蔵

- ◆温度条件 8～10℃が適温である。6℃を下回らないように保温する。
注意点 病害や腐りのある株は、貯蔵しない。ひびや割れが多くなると、腐敗しやすい。11月中旬の暖かい時間帯に貯蔵を行う。

8 種いもの更新

- ◆品種の特性を維持するために、優良株を選別して採種を行う。
定期的に(3年に1回)種いもを更新する。

※自家増殖した「ちば丸」の種いもを他人に譲渡(有償・無償を問わず)することは、「種苗法」により禁止されています。